

「数学」とは、筋道を立てて物事を考え、わかりやすく表現する力を身に付ける教科です。

7年生では、数量や図形の基本的な仕組みや性質を学んできました。8年生では、いろいろな知識や見方・考え方を深め、ものごとを筋道を立てて考え、その考え方を伝えることを学習しました。9年生ではさらに数の世界を広げたり、数学を活用して論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだしたり、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したりする力をさらに伸ばしていくことを目指します。

### 1 授業の約束

- |       |  |
|-------|--|
| 授業の準備 | (1) <b>持ち物</b> (教科書、ファイル、PC) を準備しましょう。                       |
|       | (2) <b>チャイム前着席</b> をしましょう。                                   |
| 授業中   | (3) 粘り強く <b>考え</b> ましょう。                                     |
|       | (4) 友達の意見を参考にすることや友達同士の <b>教え合い</b> を大切にしましょう。               |
|       | (5) 自己調整学習では、自分に <b>最適な</b> 学び方や進度を考え、 <b>計画的に</b> 取り組みましょう。 |
| 授業後   | (6) <b>家庭学習</b> では授業を振り返り、自力で解けるまで取り組みましょう。                  |
|       | (7) 問題集やプリントなどの <b>提出物</b> の期限を守りましょう。                       |

### 2 授業で大切なこと

「考える・まちがえる・ふりかえる」です。そのために、まずは自分の意見をしっかりと持ちましょう。そして先生や友達の意見をしっかりと聞き、自分の意見と比べましょう。

### 3 ノートの使い方

- (1) ノートに書いたことは消さないで残しておきましょう。自分の考えたことが残るため振り返りに有効です。
- (2) 数式の計算は縦に書いていくことがおすすめです。計算をするために使った根拠などをメモしておきましょう。

### 4 家庭学習のよりよい進め方

- (1) 毎日予習 (教科書を読む)・復習 (間違えた問題をもう一度解く) をしましょう。
- (2) 自分の力で解けるようになるまで練習しましょう。
- (3) 問題集やすららドリル等の問題演習をしましょう。
- (4) 計算問題は簡単に解く方法がないかどうかを考えて解くようにしましょう。
- (5) 文章を正しく読めるように、数学の用語を正しく理解しましょう。
- (6) 文章化されたものを図やグラフ・表に表す練習をしましょう。
- (7) 受験に向けての勉強を計画的に進めましょう。

### 5 評価の観点と評定について

数学科では、以下の3つの観点を  中の物で評価します。評定は、各観点を平等に扱い評定をつけます。

#### I 知識・技能

数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。ものごとを数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。

主に 定期考査 小テスト 授業中の取組

#### II 思考・判断・表現

知識及び技能を活用して課題を解決する等のための必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

主に 定期考査 小テスト 授業中の取組 提出物

#### III 主体的に学習に取り組む態度

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている。
- ・上記の粘り強い取組を行う中で、自ら学習を調整しようとしている。

主に 小テスト 授業の取組 提出物